

3L通信

ルクス・ムンディ
～世の光～

Lux Mundi

Vol.10

2010 1

Life
Light
Love

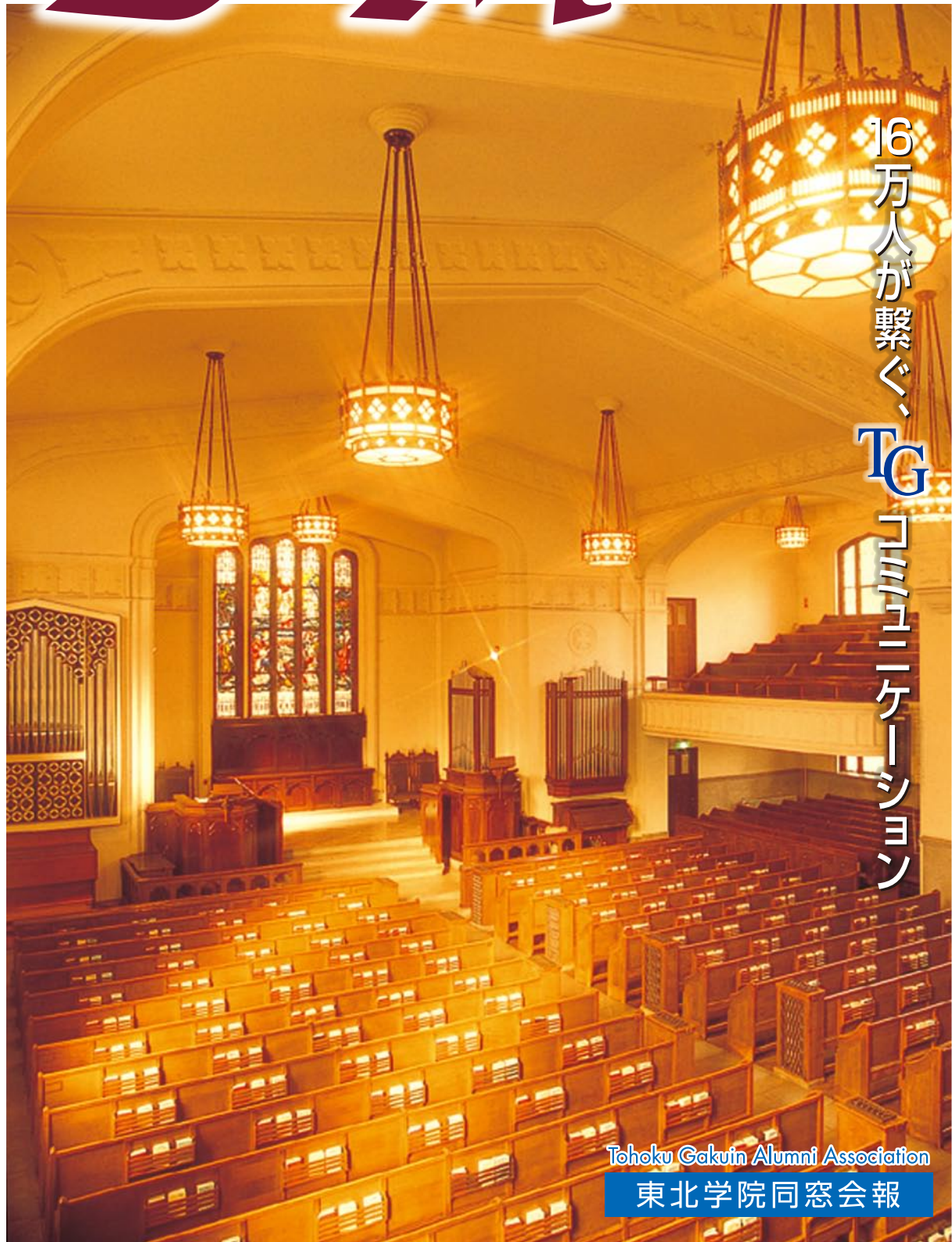
特集

特別寄稿 I 「東北学院と私」

II 「洋上風力発電の秘める可能性」



ラーハウザー記念東北学院礼拝堂外観



16万人が繋ぐ、
TG
「コミュニケーション」

Tohoku Gakuin Alumni Association

東北学院同窓会報

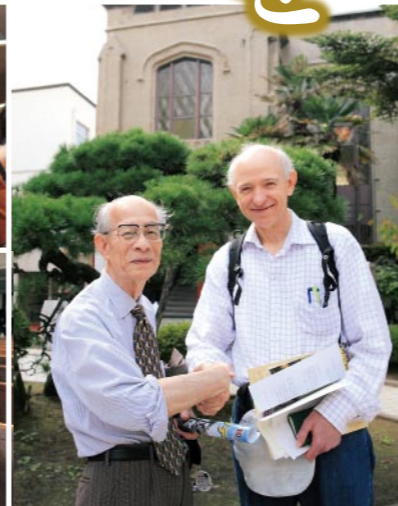


10th Anniversary Tohoku Gakuin University Homecoming Day



ホームカミングデーを 開催しました

昨年秋、第十回東北学院大学ホームカミングデーを開催しました。懐かしい出会いや新しい出会いなどたくさんさんの同窓生同士、多くの輪が広がりました。学生時代の思い出が鮮やかに蘇るホームカミングデーは、今年の秋も開催します。皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。



表題 ～ Lux Mundi (世の光) ～

「Lux Mundi (ルクス・ムンディ)」は、ラテン語で「世の光」を意味します。「世の光 わがほこり」と校歌にも出てきますので、東北学院で学んだ方々には馴染み深いものがあると思います。「ルクス・ムンディ(世の光)」は、いうまでもなく東北学院の真の創設者イエス・キリストのことです。そのキリストの光に導かれて、それぞれの人生を歩んでいただきたいとの願いが込められています。

C O N T E N T S

- P 01 ホームカミングデー(第10回同窓祭)報告
- P 02 特集 一特別寄稿一…高エネルギー物理学研究所長 菅原 寛孝
…(株)ウインドパワーいばらき代表取締役社長 小松崎 衛
- P 08 躍動する同窓生 ～世代を超えたTGの輪～
- P 10 懐かしい風 新しい出会い ～同窓生のお店を訪ねて～
- P 12 3Lセミナー「経済不況の原因と対策」…経済学部教授 小笠原 裕
- P 13 健康と医療「新型インフルエンザの症状と予防法」…宮城中央病院副院長 神谷 彰夫
- P 14 クローズアップ「感謝のこころ」で満たされるととき…小松ヶ丘教会牧師 堀米重次郎
- P 15 TG Gallery…Artist 古山 拓
- P 16 TGインタビュー…元秋田市教育委員会委員長 高田 生子
…(株)マルハニチロ食品代表取締役社長 坂井 道郎
- P 20 この人この顔
- P 21 北から南から Around Japan
- 巻末 INFORMATION、他



シュネーダー記念中央図書館内聖句



高校生のころは、物事を赤子のように信ずることと科学精神は相容れないように思われ高校教育自体矛盾に満ちたように感じられ、しつくりしないまま卒業したような印象を持っている。

物理学者として長年経験をつんだ今は、違った感慨を持っている。少し説明がいるかもしれない。私は理論物理学者として、いろいろな物理現象を説明する理論を考え出したたり、宇宙に関する理論体系を作ることに関心したりするわけであるが、其の過程で、もちろんすべてがスムーズに進むわけではなく、障害にぶつかったり、難解で解けそうもない問題に悩まされたりする。そのよ



高エネルギー物理学研究所長

菅原寛孝

昭和31年 高校卒 中・高

矛盾から繋がる未来

信ずることの力と、信じないことの重要性を同時に学んだ気がする。若いころはこの相反する流れが私の中で不器用に戦っていたようである。年齢を重ね、経験をつみ、知識も増え、考えも深まるにつれ、矛盾が矛盾でなくなり、これらの考え方が程よく心の中で住み分けるようになった。

東北学院はもちろんキリスト教の学校であるから、信仰の大切さを常日頃教えていたわけであるが、私は化学の実験室に入り浸って科学の精神がすべてを疑うことから始まることを身をもって学んだようである。

として何らかの存在を仮定できるとすればそれを真理といってもよいであろう。」

「美」と「善」

その先にあるもの

小林秀雄は、「美」について同じようなことを言っている。「何か抽象的な「美」なるものが存在するわけではない。個々の美しいものがあるだけである。われわれは、其の個々の美を見分ける力を養わねばならない。」多分個々の美の極限としての「美」なるものを想定できるならば、それを「美」と呼んでも差し支えないと小林秀雄も言うに違いない。詩人のキーツが言うように「美」は極限において「真理」であろうということが、なんとなく私にもわかってきている。プラトンの『真善美』のユートピアの世界に対する憧憬と信念がどのつまり私に力を与えているようである。

「善」なるものについても、われわれは東北学院においてきちんとした教育を受けていたのではないだろうか。私自身は、仏教の僧侶である父親から折に触れて学んだことと、東北学院で学ぶことがこどももまた相矛盾して、若いころはそれなりに悩んだこともあるが、今ではそれぞれが私の心の中に住処を見つけて安住しているようである。父親は『お前、人間には度量とか才幹とかいったものが備わっているが、要するにそれは入れ物なんだ。大きな入れ物にならんといかんぞ』とか、『羅漢様は偉い、いつも自分

科学者の目と心

うな時、最終的な自分の考え方に強い自信と信念を持っている場合は、自分でも驚くような力を出して問題を克服してしまう。ところが、なんとなく考えていることに自信がもてず、つよい信念もない場合は、問題を克服する力も出てこない。

現在の私の場合は、少なくとも何かひとつの仕事をしている間は、其の仕事の正当性について疑いを挟まないように自分自身の心をコントロールできるように自分自身が終わってしまった。仕事が終わってしまったら、今しがた成し終えたばかりの自分自身の仕事をも、科学者として疑いの目で見ることで、偏見から開放され、あるいはそれがさらに次の仕事につながったりもする。そういうわけで、古今東西を問わず、自らの命をも捨ててはばからないほどの強い信仰を持った人たちがいたし、現在もそういう人たちがたくさんいることをそれなりに理解できなくもない。

信ずる内容について科学者はもちろんたいへん慎重である。アインシュタインは、真理の存在そのものについてもきわめて慎重しやかな言い回しをしている。つまり「何か抽象的な真理なるものが目の前に存在するわけではない。科学者に出来ることと言えばそれぞれの現象について理論的説明が出来るが、それもひとつの近似に過ぎない。経験が深まるにしたがつて理論もより広く深く現象を説明できるようになる。其の極限

を鍛錬することを考えている。しかし、菩薩様はもつと偉い。自分だけでなくほかの人が鍛錬するのを助けることをいつも考えている』といった簡単な教えが私の心にしみこんでいる。

こうした教えと、聖書の中にある山上の垂訓や主の祈りのなかの教えは、理屈を言い始めるとまったく違った文化と歴史を反映して違ったものと捉えられようが、極限の善なるものにそれぞれの接点を持っているものとして私の心の中ではうまくすみ分けようになった。

近年の研究で思うこと

最近、私がいろいろ考えていることと言えば次のようなことである。まずは専門の素粒子物理学であるが、つい先日仕上げた論文ではわれわれの宇宙がアインシュタイン以来ずっと仮定されてきた時間空間の連続体と言う考えに挑戦してみた。実は、われわれの宇宙は整数で出来ているのではないのか、あるいは稠密に数が詰まっているのせいで無理数ぐらゐから出来ているのではないか、また其の理論的枠組みが実はすでに存在しているのではないかという提案をしている。其の枠組みというのは、日本の（私よりは）若い人たちによつて数年前超弦理論を置き換える理論として提案された理論である。専門用語ではマトリックス理論と呼んでいるが、この枠組みのほうですつと本質的ではないかと最近思うようになった。そ

れは物理で言う真空なるものの定義にかかわってくる。従来の理論では真空というのはものない世界ではあるが、時間空間は空っぽのものとして存在している。そのような考えではいわゆる暗黒エネルギーの存在が不自然と言えは言えなくもない。マトリックス理論の枠組みでは、真空はものだけではない。時間も空間もない状態として考えら得る。この場合は、存在の証としてあるいは時間空間の自由度の証として説明できるのではないかと思っている。

それよりもつと卑近な問題ではあるが、私の全研究歴を通して取り組んできた問題として、素粒子のファミリー問題というものがある。電子という素粒子があるが、それとミュー粒子やタウ粒子と呼ばれるものがひとつのファミリーを形成し同じように振舞っている。しかし、それらの質量は異なっており崩壊する様子も違っている。同じようなことがクオークについても言えるのだが、いまだにそのファミリーの由来がはっきりしない。私自身を含めていろいろな提案がある

のだが決め手がない。問題自身の重要さもはつきりしない。つまり何かそれを理解することで素粒子物理学が革命的に進歩するのか、現在の枠組みに少しかけたところを補うだけなのか、今もつて判然としない。超弦理論の枠内で理解できるスキームはあるにはあるのだが、それが適切であると言う証拠がまったくないし、いずれ何とかなる問題として放置されている。そういった類の問題

核兵器廃絶とエネルギー問題

現在、私は学術振興会のワシントンオフィスに勤務しているが、日米共同で科学者が取り組むべき社会的問題にも取り組んでいる。最も力を入れているのが、核兵器廃絶の問題であるが、これは技術的にも軍事、政治的にも極めてむずかしい。オバマ大統領は、この問題に関して熱心なように見受けられるが、アメリカ全体としてはまったく動けないし、日本政府も国民にうそをついてまで核兵器の抑止力を肯定的に捕らえている。私はこの問題を人間とその社会を理解するための方便としてとらえ、特にその権力構造を理解しそれと私の専門とする科学技術との関連を理解しようという学術的な関心ということで各種の圧力から逃れている。

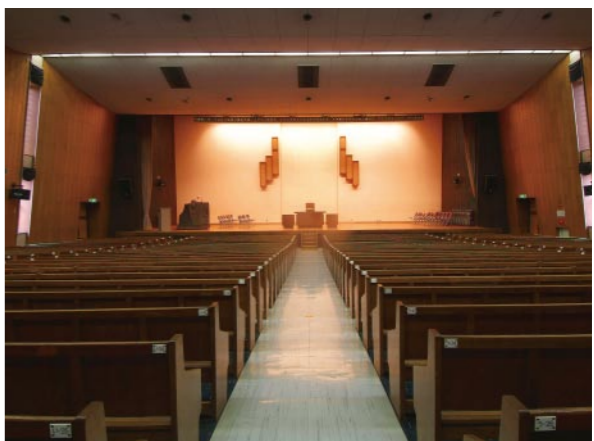
環境、エネルギーの問題はそれに比べると技術的にも政治的にも多少見込みがある。今春には、日米の専門家や政府関係者をお呼びして学術振興会としてワシントンでこれに関するフォーラムを開く予定である。

物理学のコミュニティーには女性が少ない。他のどの科学の分野に比べても極めて見劣りがする。何が問題なのかという意識を持つてこの問題にも取り組んでいる。昨年の春は日本、アメリカそして北欧から政府関係者や女性研究者を招いてワシントンでこの関連の研究会を開いた。今後も科学界に

おける機会均等の問題にも積極的に取り組んでいくつもりである。

下駄袋会での深交

私は昭和31年に東北学院高校を卒業したが、150人余の同級生が下駄袋会なるものを作つて今でも時々寄り集まつては旧交を温めている。卒業以来半世紀、今でもお互いの悲しみも喜びも分かち合える仲間たちである。卒業後いろいろ違った道に進み、違った経験もしているわけであるが、会えばそうした違いを一気に飛び越えて昔の高校時代に戻つてやあ、やあと腹藏なく付き合える。こうした楽しみをこれからも大切にしていこうと思つている。



題ではないような気もするし、実際そうなのかも知れない。これを何とか解決したいものと日夜悩んでいる。最近、私とハワイ大学の研究パートナーが昔提案した考えが再検討されて生き返っているが、それほどのような意味があるのか、もう少し深く考えてみたいと思つている。

物理学に関連する分野として、生物学の研究者の人たちと一緒に集団遺伝学の問題やDNA内部での情報伝達の問題にも取り組んでいる。相当に強力な計算機を必要とするが、非線形効果を入れた統計的プロセスとして定義できることがわかつてきた。その点では、いわゆる気象変動モデルも統計的プロセスとして取り扱ふべきで、現在のモデルが間違つているとは言わないまでもその点で改良すべきであると思つている。



プロフィール

菅原 寛孝 (すがわら ひろたか)

高エネルギー物理学研究所長。日本学術振興会ワシントン研究連絡センター長。理学博士。1966年東京大学大学院数物系研究科物理学専門課程修士課程修了。1970年東京大学原子核研究所助教授、同年高エネルギー物理学研究所教授。1989年高エネルギー物理学研究所長、1997年高エネルギー加速器研究機構長。2003年ハワイ大学教授、2004年総合研究大学院大学理事(経営・運用担当)を経て2008年より現職。1971年仁科記念賞、1995年東レ科学技術賞、1999年紫綬褒章。主な研究分野は、素粒子物理学。



洋上風力発電の秘める可能性

環境エネルギーとして期待高まる



小松崎 衛

昭和62年 工学部土木工学科卒

風力発電の新しい時代へ

2010年初春、日本初の本格洋上風力発電所、ウインド・パワーかみす洋上風力発電所が国内有数の工業地域・鹿島臨海工業地帯の港湾区域の洋上で稼働いたします。出力2000kWの風車が7基(ハブ高60m)総出力1万4000kW、一般家庭に換算すると約7000世帯の年間消費電力に相当します。

日本初洋上風力を可能にしたものは

日本における風力発電の歴史は浅く、これまでの10年は日本国内においては風力発電の黎明と呼べるでしょう。現在では大型風車の技術開発が進み、発電出力は2000kWクラス、タワー高さは60mを超え、ブレードの先端では地上100mにもなる風車がスタンダードとなり国産風車メーカー

カーの生産も始まりました。さらに、国内においても大規模風力ファームの発電所は珍しくなくなり、世界的には風力発電は環境エネルギーの中で最大の発電量を誇っています。風力発電は発電効率が最も良く、コストパフォーマンスが良いとされています。2009年国連に於いてCO₂削減目標である鳩山イニシアチブでは1990年比マイナス25%を掲げ、COP15では中国もCO₂削減に取組む前向きな取組が世界的に評価され、ますます風力発電や太陽光発電そしてバイオマス発電などの環境エネルギーは省エネルギー技術とともに重要な役割を担うことになりました。

しかし、問題が無いわけではありません。国内で最も取り上げられている問題として、風車から発生する騒音と振動が周辺地域に影響

を与えているものがあります。国土の狭い日本ではこれからの立地場所を確保することが困難になっているのが現状です。そこで、洋上に建設できないかという大きなテーマが生まれてきました。おそらくテレビのコマーシャルなどで見た海外の洋上風車のように、海の中に建てられたらと考えるのですが、風力先進国である欧州に比べ日本の海

は深くて風車建設が難しいという半ばあきらめのような状況に包まれていました。しかし、二筋の光明を見出したのが私の事業となりました。護岸から約50m離れた海中へ建設する、即ち陸上から海上に工事を実現させたのです。土木技術者としての経験が活かされました。それまで海上の建設は高コスト、さらに波の影響を受け施工時間が限られてしまい国内には外海への風力発電所は建設されなかったのです。

エネルギー革命 環境エネルギーの時代へ

日本初の原子力発電が始まりました。出力16万6000kWで開始されてから現在では国内全体の総発電量の約30%を占めるようになりました。おそらく40年前には新エネルギーと呼ばれたことでしょう。しかし、私たちは近い将来、今の「新エネルギー」と呼ばれる環境エネルギーが主たるエネルギーへと成長していく過程を見るのではないのでしょうか。もちろん様々な困難を解決しながらですが、歩みは止められないのです。

のような状況に包まれていました。しかし、二筋の

光明を見出したのが私の事業となりました。護岸から約50m離れた海中へ建設する、即ち陸上から海上に工事を実現させたのです。土木技術者としての経験が活かされました。それまで海上の建設は高コスト、さらに波の影響を受け施工時間が限られてしまい国内には外海への風力発電所は建設されなかったのです。

今や住居の屋根には太陽光発電が設置され、車はハイブリッド、さらには電気自動車へと進化し、世界をスマートグリッドで結ぶ構想が既に米国と日本の間でも考えられています。さらに国民の意識も確実に変化し、省エネルギーはもちろんCO₂ゼロのエネルギー利用を考えていく時代がアツという間に実現してきました。世界の国々と協力し、我々の地球を守っていくという一人ひとりの行動が未来を創っていくということを実感できる時代になりつつあるのではないのでしょうか。

かつて、私が住む茨城県(東海村)で1966年

最後になりますが、環境エネルギー事業者の立場として、皆様には「エネルギーを常に総合的に意識する」「生活を送っていただき、「賢いエネルギーの選択」をしっかりと欲しいと思っています。エネルギーは生み出していく時代へと変化しています。資源小国の日本ではありますが、国土を海に囲まれた特色を活かせば、海洋地下資源の開発、洋上風力発電、波力発電の推進により海洋資源大国となっていくのではないのでしょうか。



プロフィール

小松崎 衛 (こまつざき まもる)

㈱ウインド・パワー・いばらき代表取締役社長。
㈱小松崎都市開発代表取締役社長。
平成11年NEDO(新エネルギー産業技術総合開発機構)との風力発電に関する共同研究事業が採択され、平成17年にウインド・パワーつくば風力発電所を稼働。同年、ダウンウインド型大型風力発電施設協同研究を㈱日立と富士重工業㈱とで実施。同年、㈱ウインド・パワー・いばらきを設立し、現在に至る。





作曲家・指揮者 鈴木憲夫

昭和51年法卒 中：高大

中学校への入学とはほぼ同時に正式に音楽の勉強を始めた鈴木憲夫さんは、高校3年生の時に「全国学芸コンクール」高校の部の作曲部門で見事第一位に輝いた。また、大学1年生と2年生の時にも同コンクールの社会人部門でも第一席となっている。「子どもの頃から自然に音楽に触れていました」と鈴木さんには常に音楽が身近にあった。

本学を卒業後、鈴木さんは東京

音楽大学作曲科研究科にて2年間、当時学長だった伊福部昭氏のもとで作曲や管弦楽法そして音楽美学などを学び、指揮を山田雄氏に師事した。鈴木さんの作品は合唱曲、器楽、吹奏楽、管弦楽と幅広く、これまで多くの作品を発表している。なかでも大学2年生の時に作曲した混声合唱曲「永訣の朝」は、今や合唱界ではスタンダードな作品になっている。他にも鈴木さんの作品は、学生合唱コン

クール、また数多い女声合唱作品は全国の「おかあさんコーラス」でも常に取り上げられている。近年、「鈴木憲夫の世界」としてプログラムが組まれるなど人気の高い作曲家として活躍している。鈴木さんは「合唱曲が全国各地で演奏されて、客演指揮としてお招きいただくのはとても嬉しいことです」と語る。他にもコンクールの審査や講習会、合唱祭の講師など全国を飛び回り、昨年11月には日本とオーストリア交流140周年を記念して、ウィーン楽友協会大ホール、黄金の間での演奏会では音楽監督を務め、自作を指揮した。鈴木さんは「1,700人の超満員の聴衆で拍手が鳴り止みませんでした。音楽の魅力って、やっぱり感動ですね」と微笑む。また、シニエファン大聖堂にて「Ave Maria」など自作を指揮した鈴木さんは、「このシニエファン大聖堂での演奏は、800年もの大聖堂での歴史で初めて、外国語の歌が響いたことは大変画期的なこと」と解説する。



「いつも心引かれて作曲するテーマは、祈りだった」と40歳半ばを過ぎて気付いた鈴木さんは、東北学院で学んだ10年間の影響がとても強いと言う。その祈りを通して人の役に立てばと、鈴木さんは2006年より「音楽ほほえみ基金」を提唱しつづけ、昨年ようやく基金を設立した。そして、CD「日本：こころのうた」を制作し、全国各地の老人介護施設や病院などへの寄贈活動を行っている。鈴木さんは「音楽は不思議な、そして心を和ませる大きな力があります。お年寄りや病気で療養されている方々のために少しでも役に立ちたい」とボランティア活動を自身の仕事の一つに加え、さらに躍動の場を広げた。

PROGRESS 世代を超えたTGの輪

躍動する 同窓生

シリーズ10

音楽の持つ
大きな力を
多くの人に届けたい。
気象予報の奥深さ
おもしろさは
ライフワークそのもの。



国立大学を蹴って気象大学校に進学した日野 修さんは、現在、盛岡地方気象台の台長を務める。「自然を相手に、気象を観測するのが面白い」と気象予報の専門家を志した日野さんは、仙台管区気象台、青森地方気象台、気象庁本庁、名古屋地方気象台、沖縄気象台など日本各地を赴任し、多くの貴重な気象現象を経験した。その中でも観測史上過去2番目の記録的な豪雪を経験した青森と平成14年9月に沖縄で直撃を受けた台風16号が今でも忘れられない。「雪国の厳しさと言いますか、冬季は雪が降り続き太陽の光が殆ど射しませんので、街は全て白と黒のモノトーンの世界なんです。精神的に追い詰められるような感じで

した。また、那覇市で最大瞬間風速、57.4mを記録した強い台風が沖縄本島を直撃したんですが、当時、予報課長として警戒を呼びかけていたところ、沖縄本島が直径100kmほどの台風の眼に入っ、那覇市周辺では約5時間、風と雨がピタリと止んじゃったんです。県民から、どうなっているんだと随分問い合わせがありました」と懐かしく振り返る。気象庁の任務は、的確な気象情報を提供することによって、自然災害の軽減や国民生活の向上、あるいは交通安全の確保などを実現することにある。そして、盛岡地方気象台は、岩手県内の気象や地震の観測網の維持、天気予報や地震、津波のほかに岩手山の火山に関する情報を県民にいち早く伝えることを主な業務としている。その中で、日野さんは「台長には気象台業務的的確に運営されるように職員を指導、監督する責任があります。また、必要な情報が適切に県民に伝えられるよう報道機関や自治

Osamu Hino



盛岡地方気象台長 日野 修

昭和45年高校卒 中高

体と気象台との連携が上手く維持されるようにコーディネートする役割も担っています」と話す。日野さんは常に気象情報を正確に伝えることを心がけているが、スーパーコンピュータが導入されているとはいえ、気象予報の難しさはまだ残っていると言う。「地形の影響を受けた現象や雷雲の予測はまだ不十分なんです。一昨年神戸市で発生した河川の増水で児童が

亡くなったのは気象的には、雷雲の急発達が原因なんです。地域の特性などコンピュータでは十分予測できないところは予報官の判断を基に警報などを発表しています」と日野さん。注意報や警報を公表して国民生活の安全安心の確保を行っているのは気象庁だけと話す日野さんは、「気象情報を積極的に収集して、有効に活用してほしい」と呼びかけている。



菓匠 榮太楼

Kasho Eitaro



明治四十二年創業
匠の技と
おもてなしの心を
美味しさにかえる。

懐かしい風

新しい出合い

同窓生のお店を訪ねて… 10

奥州一の宮として古くから多くの人々の信仰を集めた塩釜神社。その塩釜神社御用達で、なまどら焼き本舗として名高い菓匠榮太楼は、明治42年の創業以来、匠の技とおもてなしの心を今に伝える。三代目の齋藤榮樹さんは「伝統の味を守りながら、新しい味づくりにもチャレンジしていきたい」と意欲に燃える。北海道産あずきと最高級生クリームをミックスした極上なまどら焼きは、一つひとつ心を込めて丁寧につくる。食べた時の心の豊かさを感じてもらいたいと話す齋藤さんは、菓子には人の心を和ませる優しさがあると言う。日々の品質管理を徹底的に行っている菓匠榮太楼は、今も良質な素材にこだわりつづける。

厳選された
極上の仙台牛
トップブランド牛の
味わいを追究。

牛なべ人間

Gyunabe Iruma



牛なべ人間は、明治42年に精肉店として仙台市国分町で創業したのが始まり。その後、大正初期に番町に移転し、精肉店と二階に牛なべをスタートさせた。四代目の佐藤林三さんは「うちでは厳選された仙台牛のみを使用しています。しかも、肉質はA5とB5ランクの霜降り肉です」と自信を見せる。仙台牛は全国のブランド牛と比較しても基準が厳しく、肉質のばらつきが少ないことでも知られている。そして、牛なべに欠かせないのが卵。人間では、プレミアムエッグの最高峰、ヨード卵・光しか使用していない。友人と、家族と、そして大事な記念の日に、落ち着いた店内で本物の伝統の味をじっくり堪能したい。

菓匠 榮太楼

〒985-0052
塩釜市本町2-16
☎ 022-362-0235
Fax 022-362-3828
営業時間/9:00~19:00
定休日/なし
URL <http://www.namadora.com>



取締役会長
昭和35年高校卒
齋藤 榮樹
中・高



代表取締役 佐藤林三

昭和46年工学部土木工学科卒 中高大



牛なべ人間

〒980-0811
仙台市青葉区一番町4-7-17
小田急仙台ビルB1
☎ 022-223-7201
Fax 022-223-4832
営業時間/11:30~14:00
17:00~22:00
定休日/不定休(年末年始、お盆)



3L セミナー

「経済不況の原因と対策」

―利益社会から利益社会へ―

経済学部教授

小笠原 裕

(共生社会経済学科長)

2008年9月15日にリーマン・ブラザーズが破綻したことによって、リーマン・ショックと呼ばれる世界的不況が引き起こされ、日本経済も深刻な打撃を受けた。リーマン・ショックから世界経済が立ち直らないうちに、今度は中東発の「ドバイ・ショック」である。今後世界的金融危機が繰り返し起きる可能性が大きい。

1989年にベルリンの壁が崩壊した時、マスメディアは「資本主義が勝った」と浮かれていたが、あれから20年、今度は資本主義が問われている。経済学者シュタルンベルクの『試練の上に立つ資本主義と社会主義』(1951年刊行)から約半世紀。我々は再び試

本学院は永年積み重ねてきた知的財産で地域社会に貢献していきます。

練の上に立たされている。マス

メディアはここで終わるが、経済学者はそれでは済まない。試練を乗り越える具体策を提示しなければならぬからである。

資本主義が解決することのできない問題、言い方を換えれば、資本主義が繰り返し直面する問題は需要の不足であるが、需要の不足は我々がより多くの利益を求めることから来ている。資本主義の「資本」とはより多くの利益を求める価値の運動体のことである。より多くの利益を求める結果、社会全体の供給が需要を上回ってしまう。つまり、商品を生産しても売れないという状況が起きる。商品が売れないければ、

商品の価格は下がる。それが続くのが持続的物価下落、すなわちデフレである。

不況は供給過剰という形をとるものであり、同時にまた供給と需要の不均衡を是正する過程でもある。不況になるとマスメディアも経済界も一斉に政府に対して景気対策を講ずることを求める。政府はその要求に応えざるを得ない。その結果、巨額の財政赤字が生まれる。しかし、資本主義に手を付けないで不況を克服できる景気対策などない。むしろ景気対策を講ずれば講ずるほど不均衡は是正されず、不況が長引く。ではどうするか。筆者は「利益

社会から利益社会へ」を提唱する。

漢字は同じであるが、読み方が違う。前者は「りえき」と読み、後者は「りやく」と読む。「りえき」は英語の Profit であるから、飽くなき利潤追求の資本主義社会である。「りやく」は「他を益する」(『広辞苑』)ことである。すなわち、「りやく社会」とは「他者のための社会」である。2009

年に新設された共生社会経済学科はそういう新しい社会の構築を目指す意欲的な学科である。

前号の3Lセミナーでは、原稿の段落の区切りが著者によるものでなく、編集者の都合で行いました。そのために文章がわかりにくいものとなってしまい、著者並びに読者の皆様にお詫び申し上げます。つきましては、今号の巻末に原文通りに印刷した3Lセミナーをお届けいたしますので、ご愛読をお願いいたします。

健康と医療

ドクターTG会

Medical Column

新型インフルエンザの症状と予防法

宮城中央病院副院長 神谷 彰夫

昭和42年高等学校卒業

風邪は日常生活のなかで誰もがよく罹る疾患ですが、その病原体の多くはウイルスによるものです。その中で最も注意しなければならぬものはインフルエンザウイルスです。毎年冬になると大きな流行を起こし、肺炎やインフルエンザ脳炎などの合併症で死亡する例も少なくないからです。現在、全国的に大流行している新型インフルエンザは季節性インフルエンザA型ウイルスが変異を繰り返して出現したものです。したがって、新型インフルエンザの主な症状は季節性インフルエンザと変わりありません。

初期症状は、微熱(37度台)、咽頭痛、鼻汁、咳ですが、嘔吐や下痢などの消化器症状が始まることもあります。これらの初期症状の後、38度台の高熱、筋肉や関節の痛み、全身倦怠感が現れ

ます。さらに、医療機関受診後注意しなければならぬ症状は、3日経っても熱が下がらない場合と咳や痰がひどくなった場合では「肺炎の合併」が疑われます。また、呼びかけに答えられないなどの意識障害や持続性の痙攣などの症状は「インフルエンザ脳症の合併」が疑われますので、速やかに再度受診して下さい。

慢性肺疾患、慢性心疾患、糖尿病、腎機能障害などの持病の方、特に妊婦、乳幼児、高齢者の方はインフルエンザが重症化しやすいので、症状の変化に注意が必要です。

次に、インフルエンザの予防には飛沫感染と接触感染を防ぐことが必要です。飛沫感染を防ぐためには「咳エチケット」と「マスク」の着用が大切です。咳、くしゃみをするときは口と鼻を

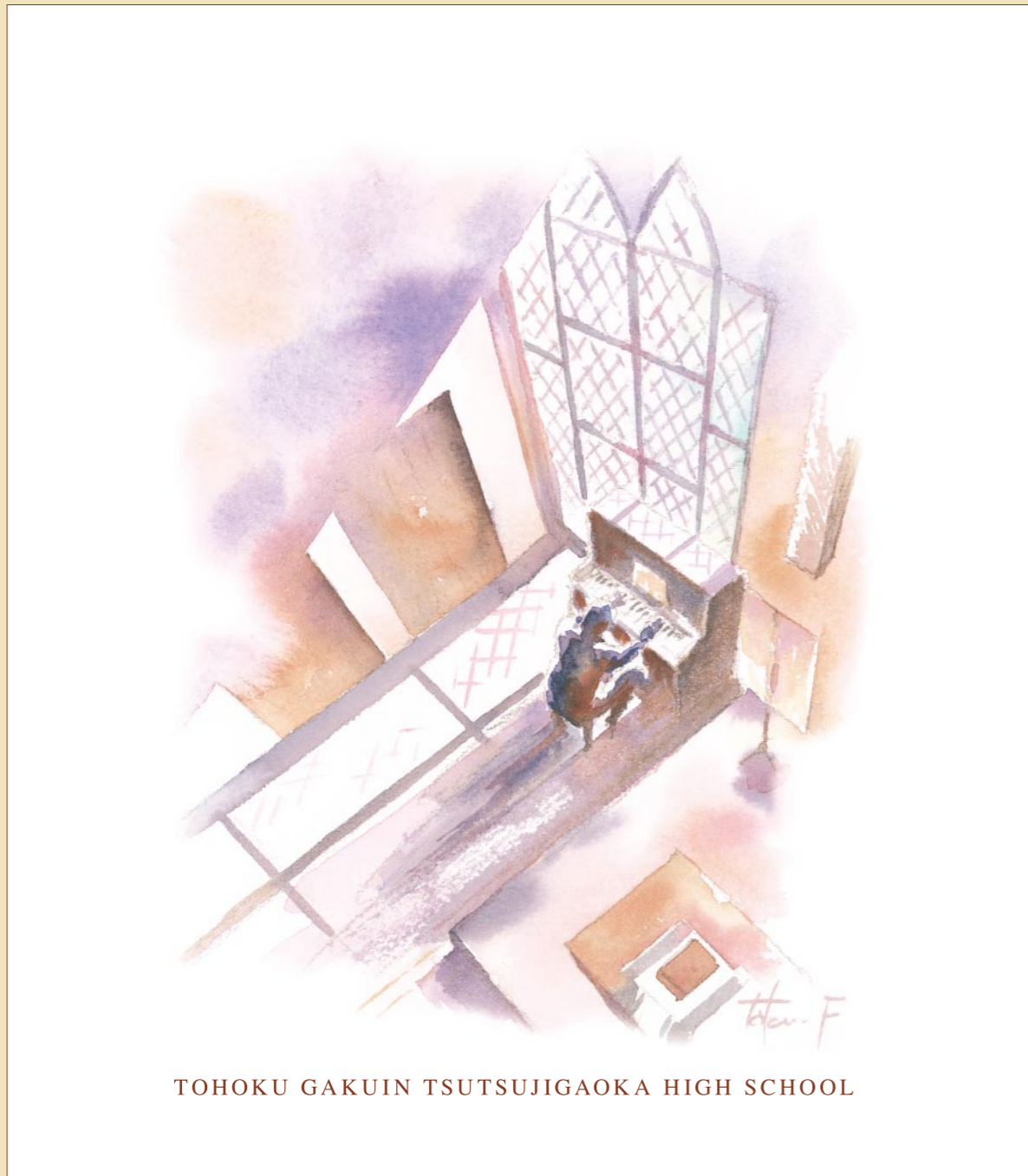
ティッシュなどで押さえ、できるだけ飛び散らせないことが大切です。咳、くしゃみ、鼻水の症状があるときは「マスク」を着用して下さい。飛沫感染は1メートル以内でおきるので、症状のない健康な方でも人混みはマスクを着用することをお勧めします。

接触感染を防ぐには「手洗い」を徹底することです。手には汚れや細菌、ウイルスなどがつき易く、その汚染された手で無意識に色々なところに触ってしまいがちです。手で他を汚染しないために「手洗い」が重要です。石けんやアルコールを使って、外出後だけでなくトイレの使用後、食事前、調理前など可能な限り頻回に行って下さい。同様に、「うがい」は口や喉の粘膜に付着したウイルスや細菌を洗い流す効果があります。



神谷 彰夫(かみや あきお)プロフィール

東北学院高等学校卒業後、昭和51年岩手医科大学卒業。同年岩手医科大学医学部放射線科入局。昭和55年岩手医科大学大学院医学研究科修了。昭和57年八戸赤十字病院勤務を経て昭和58年より現在の宮城中央病院勤務。



TOHOKU GAKUIN TSUTSUGAOKA HIGH SCHOOL

Artist 古山 拓 Taku Furuyama 昭和61年 文学部史学科卒

1962年岩手県に生まれる。アニメーター、印刷会社、デザインプロダクション勤務を経て、1994年からフリーランスとして仙台で活動。アトリエ名/ランズエンド。洋画家杉浦朝雄氏に師事。
 ●東北イラストレーターズクラブ会員 ●(社)日本水彩画会支部宮城水彩画会会員 ●NHK泉文化センター講師
 日仏現代美術博「ARTEC造形美術賞」受賞 郵政公社発行年賀状・秋田県・福島県絵柄採用等東北、東京等各地ギャラリーにて個展開催。

Close Up

Close Up

クローズアップ



堀込 重次郎 (ほりごめ じゅうじろう)

プロフィール

昭和30年日本電電公社(現NTT)に入社。国内各地のほかタイ、ネパール、スイス、中国などに勤務。東北電電キリスト者の会を結成し、職域伝道に励む。その後、日本基督教団教師検定試験に合格し、開拓伝道を経て、現在小松ヶ丘教会牧師(青森県六戸町)。東北学院同窓会三沢・十和田支部長。

「感謝のこころ」で満たされるとき

小松ヶ丘教会牧師 堀米 重次郎

昭和30年文経学部英文学科卒

それは真の幸福を感じ、他に対して何かをしたいという喜びが溢れ出ます。旧・新約聖書が貫して語ることは、「神への感謝こそが人間幸福の原点」です。「どんなことにも感謝しなさい」の神の御言葉を忘れては、私たちがいかに財力的に、健康的に、地位的に恵まれても、決して心が平和で喜びで満たされません。不平、不満、愚痴が絶えないのがこの世の常です。特に意識しない限り、喜びや感謝の心を見出せないでいます。イエスに病を癒された10人のうち、感謝をした者は一人だけでした。感謝の心を失うとき、自分で物事を背負い込み、自分の力に限界を感じ孤独になります。

日本で毎年の自殺者は3万人を超し、青森県では毎年自殺者日本一を記録、平成15年575名、今も平均500名を超えています。昨年も小中高の犯罪件数6万件、政府も行政も教師や家庭や警察は、これを解消できません。日本人の8割は幸福だという統計が出ています。その理由は「隣人と比べて優位だから」という。それが本当に人間の幸福でしょうか。福音によつてのみ与えられる生きる喜びと感謝の心だけが、それらを解消します。

私が東北学院を卒業するとき覚えていた唯の言葉「我は福音を恥とせず」一礼拝で聴いたシユネー

ダー院長の録音による説教でした。内容は殆ど覚えていませんが、それが聖書の御言葉であることを知ったのは、就職先の職場で聖書を本気で学び始めてからのことです。やがて、「福音のためなら、わたしはどんなことでもします。それは、わたしが福音に共に与かる者となるためです」の御言葉に捕らわれました。国内外各地の転勤先で、教会での交わりを通して自分の生き方が豊かにされました。主にあるこの喜びと感謝を、広く人々に伝えるために定年を待たずに退職し、伝道・牧会者になりました。読者の皆さん、聖書を愛読して下さい。聖書が出世の妨げとか、生活の邪魔になることは絶対にありません。それどころか、この社会に最も大切な人間関係を大いに豊かにします。

昨年の三沢・十和田支部総会の挨拶の中で、「困ったことがあったなら、まず同窓生に相談すること」を勧めました。必ずや知恵が湧き、解決の道が開けます。初対面でも本音で話せることが、私たちの大いなる特権です。東北学院での学びを誇りとし、感謝し、讚美歌にあるように「我、何をもちてこれに應えん」のスピリットを持続しようではありませんか。同窓生の絆を確かにし、「世の光、地の塩」の輪を広げましょう。

Ikuko Takada



教育は人づくりから

「教育は国家百年の大計」と言われるなか、近年、小学生や中学生の基礎学力が以前と比べると低下していると指摘されている。そこで、平成19年から始まった全国学力テストで毎年トップクラスの成績を維持している秋田県の教育事情について、元秋田市教育委員会委員長を務めた高田生子さんに伺った。

元秋田市教育委員会委員長

高田生子

昭和44年文学部英文学科卒

(インタビュー・構成は小原武久校友課長補佐)

教育委員会の任務は
どのようなものですか

高田 教育行政や学校運営が教育のプロだけの判断に偏ることがないように、レインマンである委員を通じて広く社会の常識とか住民ニーズを施策に適切に反映させるのが役割だと思います。具体的には、子どもの入学や教員の採用に関する事、また学校の管理運営の指導助言と命令監督などを行う他に、社会教育や文化などに關する事務を管理しています。私は平成21年3月までの1期4年間、教育委員を務めました。平成19年度に教育委員長を仰せつかりました。

小中学生の基礎学力低下が
心配されています

高田 幸いにも、秋田県の場合は小・中学校ともに全国学力状況調査では3年連続トップクラスの成績を収めています。学校訪問をしますと、どの学校も質的な差がなく、先生たちがとても頑張っているというところが分かりました。また、秋田市の学校訪問で感じたことは、児童生徒が大変落ち着いて勉強していますね。少人数クラスやTT (Team Teaching) の導入が他県に先駆けて早かったことも基礎学力の定着に繋がっているのではないのでしょうか。

したがって、学力向上対策は、落ち着いて勉強できる環境整備がなされるといいんじゃないかと思います。まず、学校生活においても家庭生活においても地域活動においても、子どもたちが非常に積極的になりますか、楽しく勉強できれば学力の向上に繋がっていくのではないかと考えています。特に秋田県の場合は、三世帯同居家庭も残っており、余り問題なく家庭が営まれているのではないかと考えています。

平成20年3月に策定された
秋田市教育ビジョンのねらいは
何ですか

い換えれば男女共同参画精神を活かした教育が急務だと思います。相手の人格を受け止められる人間教育は大切ですね。家庭においても職場においても相手を尊重しながら、支え合って生きていけるような人間関係がほしいのです。人と人との関わりが希薄になっていますから、自己表現能力の育成は大事だと思います。

それから、「自然は大きな教科書です」と言われますが、総合力を育むための自然体験学習を日常的にできる環境がほしいです。「適切な判断力」も、「逞しい人間力」も豊かな自然が育んでくれると思います。平成18年に女性で初めて「K2」の登頂に成功した小松由佳さん(秋田市出身)は判断力が素晴らしい人だと高く評価されています。私たちは、助けたり、助けられたり人に関わって皆んな生きていくわけですから、課題をクリアしていく英知を鍛えていきたいですね。

高田 今、政治においても経済においても、あらゆる分野で変革期と言われていますね。当然、教育分野でも教育基本法の改正などもありましたので、全国一律に教育展開を図っていくかなければならないというのが策定の一つの趣旨でした。それから市行政で、第11次秋田市総合計画も策定されましたので、それを契機に、学校教育や社会教育、スポーツ振興、文化振興、さらに教育環境整備の一層の充実を図っていくかなければ世代の変革にマッチしていかないのではないかということ、平成20年度から平成24年度までの5年間をスパンとして策定されました。

その教育ビジョンのねらいですが、まず「教育は人づくり」ということで、四つのキーワードのもとに策定しています。一つは、人づくりは自立の力と共生の心を育むことから始めましょうということ。二つ目が人づくりは学び続けることがとても大事だということを挙げています。三つ目は、人づくりは健やかな心と体づくりから始まり、四つ目には、人づくりには豊かな心を育むことから始めたいと、この四本柱が秋田市教育ビジョンの基本的な考え方になっています。

学校教育・家庭教育・社会教育の
連携について、どうお考えですか

高田 昭和55年に「ゆとりカリキュラム」が導入され、平成14年には学校5日制がスタートしました。当時の校長先生たちは

「学校5日制というのは、子どもたちを家庭にお返しすることなんです」とよく言われました。それまでの教育と云えば、学校が丸抱えで行ってきたところがありませんので、家庭教育の重要性を校長先生は強調したかったんでしょうね。

しかし、「ゆとりカリキュラム」が導入され、家族との絆が強まったかに思われましたが、近年、少年による犯罪や事件がとりわけ目に付くようになりました。また、不登校やいじめ、虐待に代表されるように、これらは社会問題にもなっています。私は、やはり家庭は社会の仕組みの根幹と云っていますので、家庭教育を特に大事にしてほしいと願っています。と同時に、主軸である学校は当然質の高い教育を提供していかなければならないし、そして地域の教育への関わり方ももっと積極的であるべきだと思っています。例えば、子どもたちの登下校時に、見守り隊を形成して、大事なことも私たちを地域でも育てていく。こんな関わり方を秋田市では行っています。大変暮らしにくい時代だからこそ、人と人との関わり方を大事にし、皆で支え合いながら学校教育も家庭教育も社会教育も連携を取ってこれからの子どもたちを育てていくことが重要だと思います。

これからの教育に
何が求められるとお思いですか

高田 個人的な意見として、最初のキーワードは「自立と共生」だと思います。言



Michiro Sakai



食文化の明日を描く

今から3年前に賞味期限切れ食品や産地偽装、あるいは食品への異物混入など食に対する安心を根底から揺るがす事件が発生した。それ以来、私たちは食の安全と安心に高い関心を持つようになった。社会構造の変革に伴い「食」の多様化が進んでいる昨今、食品事業を展開する(株)マルハニチロ食品代表取締役社長の坂井道郎さんに日本の食事情についてお話しを伺った。

株式会社マルハニチロ食品
代表取締役社長 **坂井道郎** みちろう

昭和46年経済学部経済学科卒

(インタビュー)構成は小原武久校友課長補佐

食品業界に就職された
動機は何ですか

坂井 当時の東北学院大学の卒業生は、水産会社とか食品会社に余り就職していませんでした。私は山本新一先生のゼミでしたので、どちらかと言うと金融関係や商社へ就職した仲間が多かったですね。私の場合、父の友人の勧めで日魯漁業を受験したんです。実は私の父とその友人はもともと日魯にいたんですが、父は後に独立して塩釜で商売を始めました。ところ

が53歳で急逝してしまい、北海道大学水産学部で父と一緒に学んだ友人が「日魯に入ったらどうだ」と強く勧めてくれました。これが、日魯漁業に就職した切っ掛けでした。

マルハとニチロとの経営統合を
経て、新生マルハニチロ食品が
誕生しました

坂井 マルハとニチロが統合して昨年の9月でちょうど2年が過ぎました。その半年後、マルハニチログループの食品事業を担

う中核会社として当社は新たにスタートしました。それはマルハを母体とした水産会社とニチロの食品会社、この2部門がメインで、売り上げはおおよそ9,000億円になります。マルハとニチロは、安全で美味いものをお届けしたいという信念のもとに、世界各地の厳選された素材を使い、豊かな食生活文化に貢献していると自負しています。特に、「マルハ」と「あけぼの」の缶詰は、多くの方々にご愛用いただいていますので、大変うれしく思っています。

マルハニチロ食品の「食」への
貢献はどのようなものですか

坂井 日本はもとより食料の自給率が低いので、世界各地から原料を輸入して国内の安定的な供給を確保していることがまず挙げられると思います。もう一つは、世界各地への栽培技術や生産技術の指導をはじめ漁業指導と品質管理なども徹底的に指導していますので、ソフト面での貢献をしていると思います。結局、日本に輸入するにしても、第三国に輸出するにしても、品質レベルから言えば安心と安全に全て繋がる訳ですので、高品質な商品をつくるためにも技術指導は欠かせません。また、生産管理の面では、生産歩留まりの向上を図っていくかないと、食品廃材がなくなります。なるべく無駄を省いて、現地の生産管理レベルを上げていかないと安定的な食料確保に繋がらないと思っています。

本物で安心、
そして健康な食とは
どのようなものとお考えですか

坂井 全てにおいてクレームをなくすということは大変難しいことなんです。ですから、当社ではゼロへの挑戦を実践しているんですが、これはお客様の手元に届く前に全部クレームをなくす運動なんです。本物、安心、健康は、食べ物の基本ですよ。どれ一つ欠けても食の世界では成り立ちません。

また、当社は「世界に美味しいあわせを」をスローガンに掲げています。美味し、そしてなおかつ幸せを感じてもらえるものをお客様に提案しています。つまり、お母さんが家族のために心からつくる料理と同じように、慈しむ心を商品に込めなければ良いものできません。それは値段も味も品質も、全てにおいて満足してもらわなければならない。また、「食」は人を形づくる最も大事な要素であると同時に、人を幸せにすることができる大きな力を持っています。厳選された素材と心のこもった丁寧な料理が最も大事なことでないでしょうか。

日本における「食」あるいは
「食文化」は今後どのような
展開していくとお考えですか

坂井 農業や漁業に目を移しますと、日本の自給率の低さが非常に懸念されています。特に、小麦や大豆などの穀物類は、ほとんど輸入に頼っている状態です。現在、日本の社会は少子高齢化に向かっていますが、地球規模で言うと現在の人口が約68億人で、40年後には90億人になるうとしています。言うまでもなく、このままの状態で人口が増加すれば、当然食料不足が起きてきます。そうなれば、世界の国々で資源と水と食料の争奪戦が始まるのは確実です。すでに資源ナショナリズムが起きていますので、ものは金を出せば買える時代から、金を出しても買えない

い時代に変化しています。日本の食料事情は、穀物や小麦、大豆、とうもろこしなどの主食は、全部輸入ですよ。それで、日本の食料自給率が4割程度まで落ち込んでしまいましたので、この自給率を高めていかなければ日本の食文化は決して豊かになりません。

それで、これからの日本の「食」を考えるならば、何としても第一次産業と第二次産業を立て直す必要があると思います。農業と漁業に関しては、もともと日本は資源に恵まれています。就農者や漁業従事者は減少しており、また高齢化が目立ちます。ただ、幸いにも、近年はスローフードや産地消への関心が高まり、若い人たちの間でも伝統的な食文化を見直す運動が盛んに行われるようになりました。生産者と消費者が直結すれば、食文化も豊かになり、安心して安全な食料が確保できます。今後、ますます本物・安心・健康な「食」が求められてくると思います。

TOHOKU GAKUIN
INTERVIEW



福島県北支部長
山田 常雄
昭和36年文経学部経済学科卒

1933(昭和8)年に設立された福島県北支部は、今年で喜寿を迎える。野兔病を発見した初代支部長の大原八郎氏の精神を歴代の支部長が受け継ぎ、地域に根ざした活動を今も展開している。山田常雄支部長は「福島県北支部の発展は、初代の大原八郎先生と2代目の大原掌一郎先生の功績が大きいですね。お二人は福島市を中心とした地域の基幹病院の院長を務め、患者さんからの信頼は絶大でした」と誇らしく思っている。

福島県北支部では毎年11月に総会を開催しているが、必ず開会祈禱を行い、讚美歌を歌ってから会を進めている。「学生時代は余り出席していなかった」と明かす山田さんは

「礼拝は今になって大変懐かしい。東北学院らしさが漂い、TGボーイとして非常にプライドを感じる」と話す。

山田さんは、お札と称する自筆の毛筆で書いた巻紙(総会案内)を毎年30以上の職域に持参し、自ら動員を図っている。その甲斐あってか、近年の福島県北支部では若い同窓生や女性の出席も多く見受けられるようになった。「職場単位に声掛けした結果、参加者が増えました。これからも人の繋がりを大事にしていきたい」と語る山田さんは、後輩の面倒見がよく会員からの人望が厚い。学生時代は応援団に所属していた山田さんの人柄が、支部の結束を固めている。



TGしびる会長
高橋 新悦
昭和55年工学部土木工学科卒

TGしびる会は、工学部土木工学科(環境土木工学科・環境建設工学科)を卒業した会員と工学研究科土木工学専攻を修了した会員の約4,700名で組織している。平成17年11月にTGしびる会長に就任した高橋新悦さんは、「正会員の他に、特別会員として現・旧の教職員の先生方を、また現役の学生を学生会員としています。会員同士の交流は勿論ですが、学生会員を対象とした技術フォーラムを毎年開催しています」と話し、TGしびる会は後輩の指導にも当たっている。

高橋さんは仙台市都市整備局都市開発部長の要職を務めながら、TGしびる会長として毎年11月に開催する総会の準備に怠りない。高橋さんは「会長と副会長、全期委員長(各卒業期の総括)、各期委員による役員会を年5回開催し、総会はもちろんゴルフコンペや卒業論文発表者への優秀講演賞の授与を企画し、毎年実践しています」と、仲間意識が強い所以を明かす。

「いろんな方と会う機会が多くなった」と語る高橋さんにとって、TG活動は人と人を結ぶ貴重な場になっている。また、高橋さんは「土木を出た人は、一緒になって頑張ろうという気持ち強いですね」と、仕事にもTG会活動にもその精神が活かされていると言う。年代を超えて会員同士の輪が広がる活動を展開したいと話す高橋さんは、同時に学生会員との繋がりをもっと強化したいと考えている。高橋さんの「創意工夫」がここでも発揮されようとしている。

Around Japan
北から南から
全国83支部1157名
全国の支部・TG会の活動報告

全国に活動の場を広げる
TGネットワーク

東北学院文化講演会を札幌で開催

「老いに親しみ、健やかに生きる」 施策を学ぶ

今回で7回目を迎えた東北学院文化講演会2009を11月21日(土)午後2時から札幌市の北海道厚生年金会館で開催した。当日は朝から雪が降り市内でも積雪が観測され、来聴者の出足が心配されたが、180名を超える一般市民と同窓生が講演を聞き入った。

最初の講師は、本学経済学部の阿部重樹教授で「人口減少・少子超高齢社会を生きたる社会福祉の動向と課題」と題して40分講演した。阿部先生は、1990年代以降のわが国の社会福祉の動向を解説しながら、福祉サービス供給システムを紹介した。また、人口推計からみる2035年の北海道の姿と札幌市の人口動向と少子高齢化の傾向から地域経済に与える影響を指摘し、今後少子超高齢社会を生きたるために、世代間(老若)の共生や男女の共生、移民労働力としての外国人との共生(多文化共生)、ハンディキャップを持つ人々との共生など、社会の関係のなかで共生を大切にする共感力が求められると結んだ。

原泉先生が「医療と介護・高齢者社会のなかで」のテーマで50分講演した。松原先生は、急性期病院と慢性期病院を紹介しながら現在の医療制度について解説し、救急医療の現場や救急救命士の誕生と育成について深く関わってきた自身の経験を分かりやすく紹介した。続いて、慢性期病院の医療現状を報告し、その中で医療と介護をめぐる問題点として特に勤務医不足を指摘した。そして、団塊の世代が60歳を超えたばかりで、本当の高齢化社会はこれからなので、豊かな高齢化社会を作り出すには、今が長期戦略を立てる最後の時期と力説していた。



松原先生の講演を熱心に聞き入る来聴者

7支部の絆を確認ー北海道同窓会を開催

札幌、旭川、岩見沢、帯広、十勝、釧路、函館、室蘭の7支部が一堂に会し、東北学院北海道同窓会が11月21日(土)午後6時からホテルライフォート札幌で盛大に開催された。はじめに、主催者を代表して小川秋夫実行委員会顧問(昭35文経経卒)が「北海道にある7支部合同の同窓会は今回が初めてなので、これを機に情報を共有して連携を深めていきたい」と挨拶。次に、杉野目博委員長(昭40文経経卒)が「文化講演会を無事終えられたのは実行委員の協力のお陰」と労を労い、「北海道においても母校の知名度アップにこれからも協力していきたい」と挨拶した。

懇談会では、卒業以来約40年振りの再会を喜ぶ同窓生もおり、大変やかな雰囲気が進められた。また、グリーククラブOB合唱団によるステージも練り広げられ、見事なハーモニーに会場は酔いしれていた。そして、北海道大学の学生らで組織する「テスト&祭人ちゅ」による、よさこいソーランが登場すると、会場は気が盛り上がった。



理工科系大学空手道連盟理事長として活躍

關せき 信彦さん(昭49工機卒/中高大)は、理工科系学科が設置されている国立・私立大学の20大学で組織する理工科系大学空手道連盟の理事長に就任して4年が過ぎようとしている。理事長職は1期2年が通例で、2期4年は大変珍しい。昨年11月に第22回全日本理工科系大学空手道選手権大会を国立オリンピック記念青少年総合センターで開催した關さんは「理工科系の学生たちを励まし、社会の発展に貢献できる人材を育成したい」と本務に励みながら学生指導に当たっている。



東北学院大学

土樋キャンパス

大学院：文学研究科・経済学研究科・経営学研究科
法学研究科・法務研究科
学 部：文学部・経済学部・法学部（各3・4年）
〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号
TEL.022-264-6421 FAX.022-264-3030

多賀城キャンパス

大学院：工学研究科
学 部：工学部
〒985-8537 多賀城市中央一丁目13番1号
TEL.022-368-1116 FAX.022-368-7070

泉キャンパス

大学院：人間情報学研究科
学 部：文学部・経済学部・経営学部・
法学部（各1・2年）・教養学部
〒981-3193 仙台市泉区天神沢二丁目1番1号
TEL.022-375-1121 FAX.022-375-4040

東北学院中学・高等学校

〒983-8565 仙台市宮城野区小鶴字高野123番1
TEL.022-786-1231 FAX.022-786-1460

東北学院榴ヶ岡高等学校

〒981-3105 仙台市泉区天神沢二丁目2番1号
TEL.022-372-6611 FAX.022-375-6966

東北学院幼稚園

〒985-0862 多賀城市高崎三丁目7番7号
TEL.022-368-8600 FAX.022-309-2655

3L通信編集委員会

委員長	学院長・同窓会長	星 宮 望
副委員長	庶務部長	佐 藤 範 明
委 員	経済学部教授	阿 部 重 樹
	工学部教授	女 川 淳
	中学・高等学校事務長	鈴 木 義 夫
	榴ヶ岡高等学校事務長	木 村 安 博
	庶務部庶務課長	斎 藤 英 夫
	庶務部広報課長	折 原 清
	庶務部校友課長	石 井 勝 雄
	庶務部校友課長補佐	海老田 保 夫
		小 原 武 久

… 編 集 後 記 …

3L通信を刊行して本号でちょうど10号にあたる。1月と7月の年2回発行しているが、いつも取材で訪ねる同窓生は、紳士・淑女たちである。初めて会うことが殆どだが、同窓生のよしみと言うか、気軽にに応じてくれるのがとても嬉しい。この3L通信は、同窓生と母校を繋ぐ媒体として約11万人の同窓生に送付している。(ちなみに、東北学院の同窓生総数は157,179人)また、3L通信で紹介する同窓生は、本当に限られた人になっているが、ときには同級生や先輩・後輩など顔見知りの方もいると思う。それが縁で、離れていた友情が身近になれば編集者冥利に尽きる。

前号で紹介したレーシングドライバーの森下陽介さんから、いつもレース結果のメールが届く。昨年、F4東日本シリーズに東北から唯一フル参戦した森下さんは、F3の走行テストを受けることになった。目標に一歩ずつ近づく森下さんに、エールを送りたい。

I N F O R M A T I O N

支 部

盛岡支部「新春講演交賀会」 日時：1月16日(土) 17:00～ 会場：ホテルルイズ 連絡先：工藤 090-7323-3722(携帯)
仙台同窓会総会 日時：2月4日(木) 18:30～ 会場：ホテル仙台プラザ 連絡先：事務局 022-782-1026
泉支部「新春の集い」 日時：2月10日(水) 19:00～ 会場：仙台ロイヤルパークホテル 連絡先：大友 022-773-6373(職場)
岩切支部総会 日時：2月13日(土) 15:00～ 会場：岩切東コミュニティセンター 連絡先：釣舟 022-255-8830(自宅)
札幌支部総会 日時：2月19日(金) 18:30～ 会場：ノホテル札幌 連絡先：齋藤 090-3893-4648(携帯)
武蔵野支部総会 日時：2月27日(土) 18:00～ 会場：所沢パークホテル 連絡先：掛地 04-2928-2503(自宅)

TG会

仙台青年会議所中高TG会総会 日時：1月26日(火) 18:30～ 会場：△□□ 連絡先：阿部 022-797-2799(職場)
TG三師会総会 日時：2月13日(土) 17:30～ 会場：ホテル法華クラブ仙台 連絡先：小泉 022-222-8778(職場)
TGスポーツOB連合会総会 日時：2月17日(水) 18:00～ 会場：仙台国際ホテル 連絡先：高橋 022-368-1206(職場)

会 議

三役会議 日時：2月24日(水) 15:00～ 会場：土樋キャンパス1号館6階「会議室」 3月17日(水) 15:00～ 会場：同 上 4月14日(水) 15:00～ 会場：同 上
常任委員会 日時：3月9日(火) 11:00～ 会場：仙台国際ホテル 4月20日(火) 15:00～ 会場：同 上
代議員会 日時：5月14日(金) 13:15～ 会場：仙台国際ホテル

校友課より

「個人情報保護法」への取り組みについて

平成17年4月1日より「個人情報の保護に関する法律」が施行されたのに伴い、東北学院では園児・生徒・学生をはじめ卒業生等の個人情報の取り扱いについて「学校法人東北学院個人情報保護規程」を定め、個人情報の適正な管理と保護に努めています。

校友課では、東北学院同窓会に必要な皆様方の個人情報をお預かりしていますが、今後も個人情報保護法に基づき慎重に取り扱って参りますので、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。詳細については、東北学院ホームページに掲載していますのでご覧下さい。

- ◇「東北学院時報」並びに「3L通信-Lux Mundi」の発行・送付
- ◇「東北学院時報」購読料徴収に関わる事務
- ◇ホームカミングデー「懐かしい出会いの夕べ」参加費徴収に関わる事務
- ◇各支部・TG会などが主催する同窓会総会及び行事の案内
- ◇その他、上記に関連する業務

住所等変更届のお願い

同窓生の皆様には、お名前・ご住所・電話番号・勤務先等に変更が生じましたら、お手数でも校友課までご連絡下さいようお願いいたします。お預かりする皆様方の個人情報は、上記の通り慎重に取り扱い、利用目的以外には使用いたしません。特に、「東北学院時報」と「3L通信-Lux Mundi」は、皆様と母校を結ぶ通信手段として欠かせないものですので、ぜひご協力をお願いいたします。なお、住所等変更届は東北学院同窓会公式ホームページからも行うことができます。